

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：ベネッセ 元住吉保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：金子 由記子	定員（利用人数）： 60名（61名）
所在地：〒211-0025 川崎市中原区木月 3-35-20	
TEL：044-431-3171	
ホームページ： <a href="https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/">https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日	2012年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）	株式会社ベネッセスタイルケア こども・子育て支援カンパニー		
職員数	常勤職員： 14名	非常勤職員：	8名
専門職員	保育士 14名	看護師	1名
	管理栄養士 3名	調理師	1名
施設・設備	(居室数) (設備等)		
の概要	保育室3室、調理室1室、事務室兼医務室1室、職員休憩室1室、多目的室1室	木造2階建て。1階保育室に面して園庭があります。入口はテンキー式の電子錠、施設設備は警備会社の警備システムを導入しています。	

### ③理念・基本方針

『その子らしく、伸びていく。』

#### ○保育理念

「よりよく生きる力=Benesse」の基礎を育てる

いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。

#### ○保育目標

##### 1. 自分で考え、すすんで行動する子ども

自分からすすんで物事に取り組む態度を持ち、意欲をもって最後までがんばる子ども

##### 2. 友だちと楽しく遊ぶ子ども

さまざまな人とかかわることの喜びを知らながら、楽しく遊べる子ども

##### 3. 感性豊かな子ども

さまざまな発見と感動を味わいながら、自分らしさを表現できる子ども

#### ○保育方針

##### 1. 子どもの「個性と人格を尊重」し、主体性を育てます

一人ひとりの子どもの人格を尊重し、個々の違いを認めながら、その子の持っている可能性を最大限に伸ばします。

##### 2. 自然な生活の営みの中で子どもが「安定感・安心感・落ち着きを持てる室内環境」をつくります

子ども中心の生活の流れをつくり、生活の場として子どもが安心し、落ち着いて過ごせる園環境にします。

##### 3. 深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します

保育者との愛情深いかかわりを大切にします。

子ども同士の多様なかかわりを大切にします。

##### 4. 身の回りの「社会・自然を通しての学び」を大切にします

さまざまな体験を通して、一人ひとりの感性を育みます。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

##### ○人との関わり合いを大切にした保育

- ・乳児：担当制で特定の保育者との安定的な関わりから、安心して生活が送れるようにしています。  
一人ひとりの成長や思いを大切に、丁寧な関わりをしています。
- ・幼児：発達に応じた話し合い活動に取り組んでいます。  
行事についても年長児が話し合い計画を立てていきます。子どもの主体性を大事にしています。

##### ○子育てのパートナーとして保護者の方に信頼していただく働きかけ

- ・送迎時に積極的に声をかけることにより、相談しやすい関係づくりを行います。子どもや保護者の方に変化がみられる時には園長や主任と連携し、必要があれば面談などを行う仕組みが定着しています。
- ・保育で大切にしていることを保護者の方と共有するための取り組みを積極的に行っています。（お便り・保護者会等）

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月16日（契約日）～ 2023年1月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回

#### 【事業所の概要】

ベネッセ元住吉保育園は、東急東横線元住吉駅から徒歩7分ほどの、住宅地の中にあります。園は、2012年（平成24年）4月に株式会社ベネッセスタイルケアによって設立されました。法人の保育事業では、首都圏を中心として保育園を多数運営しています。

園舎は木造2階建てで、周囲の住宅に溶け込み、家庭的な雰囲気となっています。砂場がある園庭があり、片隅では子どもたちがプランターで季節の野菜や花を育てています。夏には子どもたちがプール遊びを楽しんでいます。定員は、60名（1歳児～5歳児）、開園時間は、月曜日から土曜日まで7時～20時です。

#### ⑥総評

##### ◆特長や今後期待される点

##### 【特長】

- ・一人ひとりの子どもの個性や良さを引き出し、主体的に活動できるようにしています

園は、保育方針に基づき、一人ひとりの子どもの人格を尊重し、個々の違いを認めながら、その子の持っている力を最大限発揮できるように支援しています。乳児は、担当制を取り、食事や睡眠などの生活面を特定の保育士が担当し、一人ひとりに合わせた対応をすることで、子どもが安心して、人への信頼感を感じられるようにしています。幼児は3・4・5歳児の異年齢のクラス構成となっていて、日常的な交流の中で、それぞれの違いを認め、様々な学びを得ています。子どもたちが年齢や発達に応じて興味や関心を持った遊びに主体的に取り組めるよう、保育室の環境を常に見直し、整備しています。保育室にはごっこ遊びや机上遊びなどのコーナーが設定されていて、子どもが自由に遊びを選び、それぞれの発想で遊びを広げたり、友だちと会話しながら一緒に遊んだりすることができます。行事は、5歳児が中心に話し合っ計画し、主体的に活動しています。お互いの思いがうまく伝わらずめ事もおきることも多くありますが、保育士が間に入って話し合いを続ける中で、子どもたちはお互いを認め合い、協力して取り組んでいます。夏祭りでは日常のお店屋さんごっこを発展させて5歳児が屋台を出店し、異年齢で交流しました。このような取り組みを通して、子どもたちは自分の思いを言葉で素直に表現し、主体的に園生活を楽しんでいます。

- ・職員は、子どもの様子について密に情報交換し、目指す保育の実践に向けて取り組んでいます

職員は、入社時の研修や園内研修などで、理念に沿った保育のあり方を確認し、目指す方向性を共有しています。日々のクラスでの話し合いや毎月のクラス会議、職員会議などで、個々の子どもについての情報を密に共有して保育の振り返りをし、子どものやりたい気持ちを制止することなく、保育に反映できるようにしています。日々の保育での気づきやヒヤリハットなどについて密に情報交換し、流れや保育環境の見直しをし、安心・安全に子ども主体の保育が実践できるようにしています。このような取り組みを通して保育士は連携し、目指す保育の実践に向けて取り組んでいます。

・保護者と安心して子育てができるよう、信頼関係の構築に努めています

園は、子育てのパートナーとして、保護者との信頼関係の構築に努めています。送迎時には、保護者に子どもの様子を伝えてコミュニケーションを取り、保護者の相談に応じています。今年度から保護者向けの保育アプリを導入し、連絡帳（乳児は毎日、幼児は必要に応じて）とクラスの活動を写真とともにまとめたドキュメンテーション、お便り類、献立表などを保護者に配信しています。乳児保育室前に幼児のドキュメンテーションを掲示し、保護者が幼児の園生活について見通しを持てるようにしています。年2回のクラス懇談会では、保育の意図や子どもの取り組み過程などを伝え、行事などについての園の考え方について保護者の理解を得られるようにしています。クラス懇談会前に保護者にアンケートを取り、結果を基に保護者同士が語り合える場を設定するなどの工夫もしています。年1回の個人面談のほか、保護者からの相談にも随時対応し、必要に応じて園長や主任、看護師、栄養士が専門性のあるアドバイスや助言をしています。看護師による「日常で起こりうる事象への対応」栄養士による食育などのオンライン講座を希望者に対して実施して少人数で意見交換する場を作るなど、保護者が安心して子育てできるような支援を積極的に実施しています。

【今後期待される点】

・話し合いの結果を基に、園としての自己評価を作成していくことが期待されます

日々のクラスでの話し合いや毎月のクラスミーティングなどで子どもの姿について話し合い、保育の振り返りを行っています。年度末には、クラスごとの振り返りや、職員の自己評価結果、CS（利用者満足度）、ES（職員満足度）アンケートなどをもとに、年度末の職員会議で話し合い、次年度の計画に反映しています。ただし、話し合いの結果を総括して文書化し、園の自己評価としてまとめることはしていません。今後は園の自己評価を作成していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の受審に際し、保育内容や子どもや保護者の方との関わり、環境など日頃の保育について職員一人ひとりが振り返り、話し合いを繰り返すことにより、園の良さや課題について考えるよい機会となりました。

保護者の方の総合満足度においては「満足」「どちらかといえば満足」という評価をいただき、職員の励みとなるとともに、日頃より園の保育にご賛同ご協力いただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

ご指摘いただいております事項につきましては、職員で検討をし、できる形で改善を図りながら、子ども一人ひとりがその子らしく成長できるよう、保護者の方にとっても子育てのパートナーとして信頼をよせていただけるよう、努めてまいります。また、人との関わりを大切にしているという園のよさを生かしながら、地域の子育て支援の場として貢献できるよう、よりよい園運営を目指してまいります。

最後になりましたが、このような貴重な機会をいただいたこと、ならびに、お忙しい中アンケートにご協力いただきました保護者の皆様にも感謝申し上げます。

ベネッセ 元住吉保育園  
園長 金子 由記子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり